

平成29年2月22日
東京都下水道サービス株式会社

国際協力機構「草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）」の実施について

東京都下水道局（以下、下水道局）と東京都下水道サービス株式会社（以下、TGS）は、東京下水道として、適切な役割分担のもと、海外諸都市などのニーズに即した取組を一体的に実施しています。

このたび、下水道局が独立行政法人国際協力機構（以下、JICA）の「草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）」に提案した内容に基づき、TGSとJICAが契約を締結し、人材育成研修を実施することになりましたのでお知らせいたします。

1 事業目的

下水道局とTGSは一体となり、東京下水道の技術を盛り込んだ下水道整備計画の提案など、「マレーシア下水道整備プロジェクト」への技術支援を実施してきました。

このプロジェクトにおいて新たに建設される下水処理場にも、東京下水道が提案した技術が採用されており、施設の適切な運転や維持管理等を行っていくためには、現地技術者への着実な技術移転が重要となります。

今回の「草の根技術協力事業」では、下水処理場に従事するマレーシア国下水道公社（以下、IWK）職員等に対し、下水処理場の完成前から、都内で運転や維持管理等の人材育成研修を行い、東京下水道の技術を伝えることで、「マレーシア下水道整備プロジェクト」の成功を確実なものとしていきます。

2 事業概要

- | | |
|----------|---|
| (1) 事業名 | IWKが管理する下水処理場の運転・維持管理に関する人材育成事業 |
| (2) 事業期間 | 平成29年2月から平成30年9月まで |
| (3) 実施団体 | TGS（下水道局が実施団体としてTGSを指定）
※下水道局は研修場所の提供等の実施協力 |
| (4) 事業費 | 約4,700万円（財源はJICA資金） |
| (5) 研修対象 | IWK職員等 |
| (6) 事業内容 | 現地に専門家を派遣し、技術的な問題点を調査・確認するとともに、下水道局の施設を活用し、IWK職員等を対象に都内での研修等を実施 |

3 事業経過

平成28年5月	下水道局がJICA「草の根技術協力事業」に、新たな下水処理場の従事者への人材育成研修を提案（実施団体としてTGSを指定）
平成28年7月	JICAが提案を採択
平成29年1月	TGSとIWKが事業実施に係る合意文書に調印、下水道局とマレーシア国家上下水道委員会（以下、SPAN）が立会い・調印 【マレーシア調印式】
平成29年2月	TGSとJICAが「草の根技術協力事業」実施の業務委託契約を締結



マレーシア調印式の出席者（写真左から）
ハニファ I WK理事長代理、リズワン S P A N理事長、
渡辺下水道局技監、小川T G S代表取締役社長



マレーシア調印式後の
研修対象となる現地技術者を
交えた記念撮影

4 今後のスケジュール

		H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	H32 年度	H33 年度～
J I C A 「草の根技術協力事業」					都内研修等				
ランガット 下水道整備	設計・建設			設計・建設技術支援		処理場 完成			
	運転・維持管理					維持管理支援		処理場 引渡し	
I WKによる維持管理									

なお、下水道局のプレス発表文については、下記ウェブサイトをご覧ください。

【下水道局HP】[国際協力機構「草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）」の実施について](#)